

元オハイオ大学教授・Clifford McCarthy が撮った

# TOKYO 1945 写真展

終戦直後 みんな一生懸命生きていた

2007年12月12日(水) ▶ 12月19日(水) 9:00 ~ 17:00

12/12(水) 一般公開は15:00から、12/15(土) 12:00まで、12/16(日) 休み

中部大学 国際交流プラザ (キャンパスプラザ2階)



中部大学

# TOKYO 1945 写真展

## ● 写真展開催にあたって

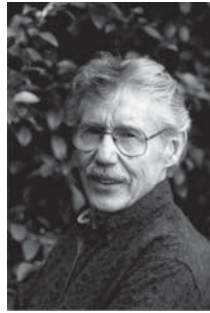
このたび中部大学は、米国・オハイオ大学の美術担当名誉教授で、2003年に亡くなられた Clifford McCarthy 氏が若き日に撮られた写真を、McCarthy 夫人より寄贈していただくことになりました。これを記念して中部大学は、McCarthy 夫人と故 McCarthy 氏の友人で寄贈の橋渡し役をされたオハイオ大学の Kroutel 名誉教授をお招きし、春日井キャンパスにある国際交流プラザにて写真展を開催することにいたしました。

第二次世界大戦中に米国空軍の写真偵察隊員として南太平洋地域に従軍した Clifford McCarthy 氏は、終戦後母国への帰途に東京の調布に約6週間滞在されました。その折に、戦後間もない荒廃した東京の街や人々の姿を、若き米国兵の目を通して生き生きと写し出し、芸術的にも歴史的にも貴重な写真として残されました。

Clifford McCarthy 氏が32年にわたり教鞭をとられたオハイオ大学と中部大学とは、学術交流協定締結大学として、1973年より30年を超える緊密な交流を重ねて来ました。その交流の歴史の中で、McCarthy 夫妻の最愛のご令嬢で、若くして亡くなられた Domini さんとそのご主人は、1977年から2年間、中部大学で英語の教員として勤務されました。

62年前の写真に映し出された当時の東京の人々が復興を目指して力強く生きている様子をぜひご覧ください。

## Clifford Thomas McCarthy (1921 ~ 2003)



### プロフィール

米国・イリノイ州シカゴで生まれる。第二次世界大戦中は空軍の写真偵察部隊に所属。ウィスコンシン大学でM.A.修了後、1949年から1年間、パリで Fernand Léger 氏の指導のもと、絵画を学ぶ。その後32年間、オハイオ大学芸術学部で教授を務める。退職後は生涯にわたり何度もニカラグアへ渡り、現地の村民や農民の姿を撮り続けた。

## ● 展示写真から



### 中部大学への アクセス

- JR中央本線「神領」駅よりスクールバス約7分
- JR中央本線・愛知環状鉄道「高蔵寺」駅下車  
北口⑧番のりばより名鉄バス「中部大学前」行き  
約10分
- 東名高速道路春日井I.C.より約5分

### お問い合わせ

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200  
中部大学 国際交流センター  
(キャンパスプラザ2階 国際交流プラザ内)

TEL: 0568-51-1111 (代)

ホームページ: <http://www.chubu.ac.jp/>